

令和4年度

賃貸不動産経営管理士試験

解 答 速 報

2022/11/20 21:00公開

問1	4	問11	4	問21	2	問31	3	問41	1
問2	2	問12	1	問22	3	問32	疑義あり★	問42	3
問3	1	問13	1	問23	4	問33	2	問43	4
問4	1	問14	1	問24	3	問34	4	問44	1
問5	1	問15	3	問25	3	問35	1	問45	4
問6	3	問16	2	問26	1	問36	4	問46	2
問7	3	問17	4	問27	3	問37	2	問47	4
問8	2	問18	2	問28	2	問38	2	問48	4
問9	4	問19	2	問29	4	問39	3	問49	3
問10	1	問20	1	問30	2	問40	3	問50	1

TACが予想する合格ラインは、 ±35点と思われます。(11/20 21:00現在)

★ 該当する選択肢なし

※ 当解答速報・合格ラインはTAC独自の予想であり、解答及び合格ラインを保証するものではありません。また、情報を更新する場合もございます。

※ この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

令和4年度

賃 貸 不 動 産 経 営 管 理 士 試 験



全体的にここ数年に比べ難易度が上昇し、出題形式でも個数問題13問、組合せ問題が8問出題され、受験者の多くが例年（過去問）に比べ「難しい」と感じたのではないかと思われる。

科目別には、「法令分野」は新しいテーマとして請負契約の契約不適合（問5）が出題されたが、その他は既出の論点が多かった。ただ、細かい点が問われたため難易度は上昇した。

「賃貸住宅管理業法等」は出題数が大幅に増加し（20問）、平易な問題と難易度が高い問題が明確に分かれた。「賃貸住宅管理業の実務」では、会計原則（問22）、「人の死の告知に関するガイドライン」（問43）が初めて出題され、難問だったが、例年出題されている原状回復ガイドラインや標準契約書等で得点できたかがポイントだった。「支援業務」は昨年に続き3問の出題であり、税金以外は平易だった（全問5点免除部分）。

「設備・構造」は既出のテーマが多かったが、細かい点や未出の論点の出題もあり、例年に比べ難易度が上がった。

なお、問32は選択肢に正解となるものがなく、出題内容に疑義があり、現在のところTACの見解としては、「解答なし」とさせていただきます。

以上